

福祉こどもまつり

5月11日⑩ 10時～14時

※雨天決行

市総合市民センター
(町保13-20)



◆内容

- ・キッズダンス (BE MAGIC DANCE SCHOOL)
 - ・福祉バザー
 - ・各種模擬店、MOBAAー1 グランプリ出場店
 - ・ふわふわバルーンコーナー等
 - ※こども向けイベント多数用意
 - ・福祉関連商品の展示・販売
 - ・福祉関係団体や施設の紹介
 - ・中の島太鼓の演奏会
 - ・新鮮野菜セットの無料配布 (先着順) ※数量限定
 - ◆駐車場 100台程度あり
 - ◆その他
- バザー物品の寄付も募集しています。ご協力ください。
- お問い合わせは、
茂原市社会福祉協議会 (総合市民センター内)
- TEL(23)19009、FAX(23)65388へ。

健康生活推進員コーナー

茂原市健康生活推進員会が発足しました

保健委員会と食生活改善協議会が統合



市民のみなさんの健康づくりについては、これまで、自主組織としての保健委員会と食生活改善協議会が、運動と食・栄養をテーマ別に普及活動に取り組んできましたが、今般、両組織を発展的に解消し、新たな地区活動組織として、「茂原市健康生活推進員会」を発足しました。

健康生活推進員会ではこれまでの運動と食・栄養に加えて健診の受診勧奨や喫煙・飲酒などに起因する健康問題など多方面から総合的に地域のみなさんに健康づくりの大切さを伝え、健康寿命の延伸につながるよう普及活動をしていきます。

推進員は茂原市在住の方から公募により選出し、定員は50名以内で、任期は3年です。

年間を通して、健康づくりの講話、調理実習、ウォーキングや軽体操などの各種事業を行いますので、市民のみなさんの積極的なご参加をお待ちしています。



お問い合わせは、
市保健センター
TEL(25)1725、FAX(25)1865へ。

受けよう

がん検診



今やがんは、日本人男性の2人に1人、女性の3人に1人がかかる可能性がある病気と言われています。

誤解3
まだそういう年齢じゃないよね？
大腸がんは40代後半から、乳がんは30代後半、子宮頸がんは20代、30代で見つかる人が増えていきます。「まだそういう年齢」ではなく、「もうそういう年齢」という自覚を持ちましょう。

がん検診の誤解あるある!!

誤解1
健康には自信があるし、症状が出てから病院に行けばいいんじゃない？
ほとんどの早期がんは自覚症状が全くないと言われています。咳が続く、血便が出る、食べられないなどの自覚症状があった場合は、がんが進行していることが少なくありません。症状がないからこそ、検診が有効です。

誤解2
がん家系じゃないから大丈夫でしょ？
確かに一部のがんは遺伝性があると考えられています。が、ほとんどのがんは生活習慣が原因と言われています。

(表1) 平成24年度 茂原市がん検診等受診率

検診部位	受診者数	受診率	がん発見者数(疑い含)
胃	3,332人	11.5%	2人
大腸	5,540人	18.9%	8人
肺	4,912人	17.0%	3人
子宮	3,093人	14.5%	2人
乳	6,634人	33.5%	9人

平成25年度の茂原市の検診では60代前半の方の大腸がん発見が目立ちました。

がんは早期発見・早期治療で治る病気です。他人事とは思わず継続してがん検診を受けましょう。

お申し込み、お問い合わせは、
市健康管理課 (2階)

TEL(20)1574、FAX(20)1600へ。
市保健センター
TEL(25)1725、FAX(25)1865へ。